

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成26年1月29日

都道府県知事  
広瀬 勝貞 殿



提出者  
住 所 日田市大字有田1282-7  
氏 名 (有) うすき  
代表取締役 薄木 幸雄  
電話番号 0973-22-6378

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	(有) うすき 薄木養豚場
事業場の所在地	日田市大字有田字川江原
計画期間	平成25年4月1日～平成26年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	養豚 (雄豚14頭、母豚260頭、哺乳豚360頭、子豚660頭、肥育豚1,300頭)
③従業員数	3名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動物のふん尿 : 自らたい肥化処理及び汚水処理 動物の死体 : 化製場へ委託処理



(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

場 長：廃棄物の処理計画等の立案・指示  
書類等の管理  
行政に対する報告等

従業員：廃棄物の処理に関する作業  
(たい肥化处理、汚水処理、死体の管理等)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成24年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排 出 量	4,600 t	12 t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排 出 量	4,600 t	12 t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成24年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1,000 t	t
	(これまでに実施した取組) たい肥化处理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1,000 t	t
	(今後実施する予定の取組) たい肥化处理		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成24年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	3,600 t	t
(これまでに実施した取組) たい肥化处理及び汚水処理			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	3,600 t	t
(今後実施する予定の取組) たい肥化处理及び汚水処理			